



# 志木二小だより

平成30年5月号

志木市立志木第二小学校

埼玉県志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

////// 学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子** ////

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	4/8現在	昨年同時期
	95	72	83	85	101	89	13	538名	527名



## みんなで運動会を楽しみましょう！

校長 齋地 満

風薫る5月、木々の新緑も優しく、さわやかな季節を迎えました。平成30年度がスタートし、3週間ほどが経ちましたが、子ども達の登校の様子や学習に取り組む姿を見ると、落ち着いて生活ができているという印象をもちました。先日行われた「1年生を迎える会」では、素晴らしい歌や呼びかけ等を聞くことができ、1年生の笑顔とともに、志木二小のまとまりを感じることができました。また、離任式が行われ、お世話になった先生方との別れに涙し、名残を惜しむ姿も見られました。人は、かかわりの中で、成長します。出会いと別れが子ども達をまた一回り大きくしてくれたことと思います。

さて、5月26日（土）に運動会が行われます。連休明けから練習にも力が入ってくることでしょう。運動会の起源は、今から約140年前の明治7年に、築地の海兵学校で行われた「競闘遊戯会（きょうとうゆうぎかい）」というものだったようです。ちょっと怖い感じの名称ですね。その後、運動会が学校行事として定着したのは、初代文部大臣の森有礼が省令を発したことにあります。しかし、当時の学校は、とても困りました。教育制度が定まったばかりで、運動場がなかったからです。そこで、神社やお寺の境内を使用できるよう、苦肉の策として地域の住民参加型として実施されました。そのため、だれでも楽しむことができるよう、大玉送りやパン食い競争などの競技が行われました。やがて、お祭りも一緒にやっしまおうという考えから、地域の一大イベントとして発展していきました。なお、運動会で行われるフォークダンスやいわゆる演技種目は、盆踊りや豊年満作踊りがルーツになっているようです。

現在は、学校単位での実施となりましたが、子どもたちにとって一大行事であることには、変わりありません。本校の校庭の広さは十分ですから、子どもたちには、心おきなく競技、演技に全力を出してほしいと思います。特に6年生は、小学校生活最後の運動会が、よい思い出となるよう願っています。

運動会を通して、子どもたちに伝えたいことがあります。それは、「仲間がいるからこそ、楽しい」ということです。本校では、3色対抗で行うので、順位がつかます。そこには、喜びも悔しさもあるでしょう。しかし、1チームだけでは、勝負が成り立ちません。相手がいて、初めて競い合う楽しさを味わうことができるのです。演技種目も一緒です。個の動きの美しさもありますが、全体から見た構成やダイナミックさは、集団演技ならではのよさがあります。当日は、子どもたちのがんばる姿に温かい応援をお願いします。同時に、少し違った視点からも見ていただき、運動会をより楽しんでください。



